

記入例

事業所番号(7桁、もしくは8桁:送付の封筒に記載)を入力してください。不明な場合は、県にお問い合わせください。

様式第6号(条例第142条の3関係)
様式第2号(要綱第3関係)

市町村コード	
事業所番号	1234567

排出抑制措置結果報告書

2021年〇月〇〇日

兵庫県知事 井戸敏三様

報告者 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

神戸市中央区下山手通〇-〇-〇

氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

株式会社 〇〇〇〇〇

代表取締役 〇〇 〇〇

押印不要

工場等の名称	株式会社〇〇〇〇〇 神戸工場	
工場等の所在地	〒650-8567 神戸市中央区下山手通〇-〇-〇	
業種	食料品製造業	報告年度に実施した措置内容を記載します。
実績報告する年度を記載します。	2020年度に実施した温室効果ガス排出抑制措置の状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ボイラー設備の空気比を改善して燃焼使用量を削減した。 蛍光灯をLEDに取り替えることにより、消費電力の節電を図った。 昼休みの消灯 ※ 別紙に記載していただいても結構です。	
2020年度における二酸化炭素排出量		1,984,000 (kg-CO ₂)
	別紙①を転記	
連絡先	担当部署・担当者氏名 設備課 兵庫 太郎	
	電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	電子メールアドレス *****@〇〇〇〇.〇〇.jp	

単位に注意して記入してください。
 例えば LPG や LNG の単位は、「kg」です。
 m³しか分からない場合は、
 LPG 1m³=2.18kg
 LNG1m³=0.714kg
 として計算してください。

別紙

2020 年度におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量

使用の区分	燃料等の種類	使用量 (C)	単位	二酸化炭素換算係数 (D)	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) (C)×(D)
燃料としての利用	灯油		リットル	2.49	
	A重油	600,000	リットル	2.71	1,626,000
	B重油		リットル		
	C重油		リットル		
	都市ガス(13A)		m ³		
	液化石油ガス(LPG)		kg		
	液化天然ガス(LNG)		kg		
	ガソリン		リットル		
	軽油		リットル		
他人から供給された電気の使用	買電	1,000,000	kWh	0.358	358,000
他人から供給された熱の使用	産業用以外の蒸気、温水、冷水		MJ	0.057	
二酸化炭素排出量合計					1,984,000

当該計画書・報告書は、ばい煙発生施設に係るものだけでなく、事業所全体での前年度(4月～翌年3月末まで)の電気や燃料の使用量を記入してください。

別紙①

- 注1) 二酸化炭素排出量は、使用量(C)×二酸化炭素換算係数(D)で求める。
 注2) 電気の使用に係る二酸化炭素排出係数については、関西電力㈱の平成17年度の係数を用いる。他の電気事業者からの電気を使用している場合、排出係数を変更しても差し支えない。
 注3) 液化石油ガス(LPG) 1m³ = 2.18kg、液化天然ガス(LNG) 1m³ = 0.714kgを用いて計算する。
 注4) 燃料種別ごとの単位発熱量及び二酸化炭素排出係数は、以下のとおりである。

主に工場等の敷地外で走行する自動車等の移動体の燃料使用量は算入不要です。
 一方、工場等の敷地内のみを走行する移動体(例えば構内専用フォークリフト)の燃料使用量は算入対象となります。

燃料の種類	単位	単位発熱量(MJ)	排出係数×44/12	二酸化炭素換算係数	燃料の種類	単位			
原油(コンデンセート除く)	L(リットル)	38.2	0.0686	2.62	原料炭	kg(規)			
コンデンセート(NGL)	L(リットル)	35.3	0.0675	2.38	一般炭	kg(規)			
揮発油(ガソリン)	L(リットル)	34.6	0.0671	2.32	無煙炭	kg(規)			
ナフサ	L(リットル)	33.6	0.0667	2.24	石炭コークス	kg(規)			
灯油	L(リットル)	36.7	0.0678	2.49	コールタール	kg(規)			
軽油	L(リットル)	37.7	0.0686	2.58	コークス炉ガス	Nm ³			
A重油	L(リットル)	39.1	0.0693	2.71	高炉ガス	Nm ³			
B・C重油	L(リットル)	41.9	0.0715	3.00	転炉ガス	Nm ³	8.4	0.1408	1.18
石油アスファルト	kg(規)	40.9	0.0763	3.12	都市ガス(13A)	Nm ³	45	0.0499	2.25
石油コークス	kg(規)	29.9	0.0931	2.78	産業用蒸気	MJ			0.060
液化石油ガス(LPG)	kg(規)	50.8	0.0590	3.00	産業用以外の蒸気、温水、冷水	MJ			0.057
石油系炭化水素ガス	Nm ³	44.9	0.0521	2.34	電気事業者からの買電	kWh			0.358
液化天然ガス(LNG)	kg(規)	54.6	0.0495	2.70					
その他可燃性天然ガス	Nm ³	43.5	0.0510	2.22					

原油換算エネルギー使用量が 500kL 以上かつ大気汚染防止法第 2 条第 2 項に規定するばい煙発生施設（専ら非常時において用いられるものを除く。）を設置している工場等（条例対象）は特定物質（温室効果ガス）排出抑制目標達成状況確認票を作成して提出してください。

【特定物質（温室効果ガス）排出抑制目標達成状況確認票】

排出抑制計画期間（2020年まで）が終了したので指針第 3 項 6 号に基づき、排出抑制目標の達成状況について、確認し、達成、未達成の要因について記載してください。

要因については、特定排出事業者自らが分析し、新計画を作成するときにも活かすようにしてください。

特定物質（温室効果ガス）排出抑制目標達成状況確認票					
温室効果ガス排出抑制計画期間（2020年度まで）が終了しましたので、兵庫県特定物質排出抑制計画に関する指針（平成18年告示第963号）に基づき、排出抑制目標の達成状況についてご確認いただき、達成、未達成の要因についてご記入ください。					
工場等の名称	株式会社〇〇〇〇 神戸工場				
担当者連絡先	設備課 兵庫 太郎				
特定物質（温室効果ガス）排出量	単位	基準年度排出量 (2005)年度	2020年度目標量(a)	2020年度排出量実績(b)	
	t-CO ₂	2,540	2,000	1,984	
抑制率	%	対基準年度比	21.26	21.89	
原単位 (原単位設定の場合は記載)					
抑制率	%	対基準年度比	#DIV/0!	#DIV/0!	
目標達成状況 (a)と(b)を比較し、○をつけて下さい。	達成→	○	非達成→		その他→
<p>「達成」または「未達成」の要因(又は「その他」を選んだ理由)を記載してください。</p> <p>(例)・計画した措置の他、令和〇年に〇〇を導入したことにより、大幅な削減ができ、生産量は伸びたが、目標は達成できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画した措置は順調に進めていたが、令和〇年に〇〇装置が故障し、旧施設を再稼働して操業を継続したため、排出量が増えてしまい、目標を達成することができなかった。 ・実排出量では、目標を〇〇t-CO₂超過したが、超過分については、県内産クレジット等を取得し、令和3年9月を目処に焼却する予定である。 					